

静岡県センター配信型遠隔教育ネットワーク

I. 研究開発の背景と目的

静岡県では中山間地域を中心に公立高等学校の小規模化が進行し、①生徒が多様な価値観や考え方を学ぶ機会が少ない、②配置教員の不足により特定科目の開講が困難、③習熟度別授業の実施が難しい等、学校間で学習機会に格差が生じている。これらの課題を解決し、**公正で個別最適な学びを実現**するため遠隔授業の配信機能を集約した「**センター配信型遠隔教育ネットワーク**」を構築し、学習の機会を提供する。

【目的】小規模校の教育機会と教育の質を拡充し、以下の目標を達成する

- (1) 生徒の多様な学習ニーズへの対応と主体的な学びの促進
 - 生徒の興味・関心に基づいた科目開設や、遠隔教育を活用した探究的な学びの深化
- (2) 受信校間の連携による協働的な学びの促進
 - 他校の生徒と意見交換やグループワークが可能な環境の整備と、学校の枠を超えた探究学習や特別活動等の実施
- (3) 遠隔教育の活用による小規模校の魅力化推進
 - 地域にしながら多様な学びの機会を得ることを可能にし、特色ある教育課程を実現



II. 実施体制や取組状況、今年の事例



(1) 遠隔授業

[本校 → 分校]
 ■伊豆総合高校→土肥分校…地理総合・世界史探究
 ■浜松湖北高校→佐久間分校…生物基礎演習
 [センター → 構成校]
 ■下田高校・松崎高校・稲取高校・土肥分校・佐久間分校・静岡中央高校…「総合的な探究の時間」遠隔課外活動

(2) 通信教育及びICT活用に係る取組

[通信教育]
 ■静岡中央高校通信制課程で「書道」のオンライン講座試行 [ICTの活用]
 ■Google Classroom等のツールを活用した学習支援
 ■学習進捗管理システムの試験運用
 ■学習効果の検証

(3) 組織体制等

■令和7年度配信科目及び時間割等を検討し、科目選択及び科目登録を開始
 ■先進事例視察
 ■学校間連携（遠隔課外活動）を全6回実施
 ■7月、11月、1月に運営委員会を実施
 ■配信拠点及び受信校に機器の設置

III. 今年の成果と今後の課題

内容	成果	課題
遠隔授業	・専門性の高い教員からの指導が可能になり、生徒の学習意欲が向上	・受信校の支援体制を構築し、教員の負担を軽減する ・配信科目の拡大
教育課程の充実	・学校間の協働的な学びの場を形成	・同時配信の拡大に向けた時間割等の調整と、配信科目の拡大に向けた検討
生徒の主体的な学びの促進	・ICTを活用した学習支援ツールの導入により、生徒の学びの可視化を推進	・自己調整型の主体的な学びを支援するシステムの研究開発 ・進路決定に関するのデータ収集・分析
ネットワークの持続的発展	・外部有識者による評価を取組に反映 ・オンラインスクーリングや遠隔課外活動の試行 ・令和7年度の遠隔授業科目を決定 ・各学校の機器整備	・配信センターを中心とした組織体制の確立 ・遠隔授業の成果を各学校のスクールポリシー実現につなげて、遠隔授業の魅力地域や生徒・保護者へ積極的に周知